

令和6年(2024)年 4月22日

関係大学長

関係機関長 様

名古屋市立大学大学院人間文化研究科長

久保田 健市 (公印省略)

教員の公募について(依頼)

このたび、本研究科では下記の要領で教員募集いたします。
つきましては、この旨を関係学部・大学院等に広くお知らせくださいますよう、お願い申し上げます。

記

1. 所属 名古屋市立大学大学院人間文化研究科「こころ」の発達コース(人文社会学部心理教育学科)
2. 職名・人員 准教授、または、講師1名
3. 専門分野 認知心理学(非言語的コミュニケーション)
4. 担当予定科目 (大学院)「課題研究科目」「認知心理学研究 A」「認知心理学研究 B*」「心理統計法特論*」「臨床心理学研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ*」「人間・社会研究特別演習」「人間発達論特殊講義」
*は臨床心理コース科目
(学部)「知覚・認知心理学」「心理学概論」「学習・言語心理学」「心理学実験1・2」「ESD 科目(オムニバス)」「基礎演習(オムニバス)」「専門演習1・2・3・4」「卒業論文」「教養教育科目」
5. 応募資格 以下に挙げる要件を全て満たす者。
(1) 博士の学位を有する者。またはこれと同等の研究業績を有する者。
(2) 学内での業務および学生指導に意欲を有する者。
(3) 「心理学実験」を担当できる者。
(4) 生理指標を用いた心理学研究の指導ができる者。
(5) 持続可能な社会の実現(sustainable development)という課題に関心があり、本学でのESD、SDGsに関する諸活動を推進していく意欲を有する者。
(6) 採用後は、名古屋市またはその周辺に居住できる者。
(7) 臨床心理コースの運営・科目の担当などコース兼務に意欲を有する者。
6. 採用予定日 令和7年(2025年)4月1日
7. 応募期限 令和6年(2024年)7月16日(当日必着)
8. 提出書類 (1) 履歴書(別紙様式による、A4判)最終学歴を証明する公的文書のコピーを添付すること
(2) 業績目録(別紙様式による、A4判)著書、論文(修士論文は除外、

- 博士論文は含む)等のうち主要なもの5点以内に○印をつけること
- (3) 業績目録で○印をつけた5点以内の著書または論文の概要(A4判、様式自由)各1点につき、日本語400字以内で要約すること
 - (4) 上記の5点以内の著書、論文等の抜き刷り、またはそのコピー
 - (5) 応募必要事項記入用紙(別紙様式による、A4判)
 - (6) 本学での研究・教育における抱負(様式自由、A4判1枚)
- *上記(1)~(7)の書類一式と、(1)(2)(3)のワードファイルとPDFファイル、(5)のエクセルファイルを収めたUSBメモリを同封してください。なお、(4)についても可能な範囲内で、PDFファイルをUSBメモリに入れてください。

9. 提出先

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地
名古屋市立大学大学院人間文化研究科長 宛

なお、提出書類は、郵便(簡易書留)またはそれに代わる送付方法(ただし持参は除く)により、封筒に「認知心理学教員応募関係書類」と朱書きすること。

10. 照会先

名古屋市立大学大学院人間文化研究科

照会は原則としてe-mailでお願いします。

(e-mail: recruit_cognition@hum.nagoya-cu.ac.jp)

11. その他

- (1) 提出された応募書類により取得した情報は、当該選考目的以外には使用しません。提出された応募書類は、原則として返却しません(選考終了後に、適正に廃棄します)。なお、応募書類等の返却を希望される場合は、返却希望の旨を明記の上、返信切手を貼った封筒を同封して下さい。
- (2) 選考の最終過程で面接を実施します(面接時の旅費支給は行いませんので、ご了解下さい)。
- (3) 「履歴書」「業績目録」「応募必要事項記入用紙」の別紙様式A4判は、人間文化研究科ホームページからダウンロードして下さい。
- (4) 採用予定者となった場合には、名古屋市立大学病院で健康診断を受けていただきます。
- (5) 名古屋市立大学では男女共同参画を推進しており、教員の採用、昇任においては、業績と能力が同等であるならば、女性を積極的に採用し、昇任させます。
- (6) 本学は敷地内禁煙を実施しており、教職員には、この方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。
- (7) 本学の教員の定年は、満65歳です。
- (8) 「こころ」の発達コースは、令和7年度より基礎心理コース(仮)へ名称変更し、令和10(2028)年度より臨床心理コースから兼務者を出すことでコースの充実を図る計画があります。
- (9) 「こころ」の発達コースのほか、臨床心理コースの兼務があります。